

防災意識の啓発

マイハザードマップ・マイタイムラインの作成及び自主防災組織の設立

(古賀市の取り組み)

- マイタイムラインは、住民一人ひとりが、災害に関する知識と心構えを共有し、事前に作成する防災行動計画です。
- 本市では、台風や大雨が接近しているとき、余裕をもって安全に避難するために、市民一人一人がとる防災行動を時系列でまとめる行動計画を作成できるよう、令和4年3月に作成した「古賀市総合防災マップ」に古賀市版マイ・タイムラインを添付し、全戸に配布しました。

氾濫域

■位置図・写真

■取り組み内容の説明

令和4年3月に作成した「古賀市総合防災マップ」に古賀市版マイ・タイムラインを添付し、全戸に配布しました。

関係機関の連携・協力体制の確保、人材育成

関係機関が連携した水防訓練、連絡体制、情報共有の強化

(古賀市の取り組み)

- 梅雨及び台風シーズンによる水災害多発時期を迎えるにあたり、水災害活動を安全確実に実行できるよう水災害に対する知識技術を習得するとともに、水災害活動時における関係機関の円滑な連携を図るために訓練を実施。
- 訓練参加者：古賀市消防団、粕屋北部消防署

■位置図・写真



■取り組み内容の説明



- 越水に対する工法
海岸線を河川とし、河川に越水の恐れが発生したものと想定し、4班に分けて天端に約10メートルの3段積み土のう工法を実施。

水害リスク情報の共有

各種浸水想定区域図(または過去の浸水実績範囲)の作成・公表

(糸島市の取り組み)

- 市内の雨水計画区域(市街化区域周辺)における内水地域において、「雨水出水(内水)浸水想定区域図」を作成します。浸水想定区域図は、自然災害等により河川が満水となり内水が放流できない場合に想定される浸水範囲・浸水深を色分け表示したものであり、すでに公表している「防災ハザードマップ(令和2年3月)」とあわせて、浸水想定区域図をもとに市民への情報提供等に活用します。

氾濫域

位置図・写真

内水浸水想定区域図の範囲
※雨水計画区域(市街化区域周辺)



取り組み内容の説明

内水浸水想定区域図のイメージ
(事例: 雷山川洪水浸水想定区域図)



洪水氾濫対策

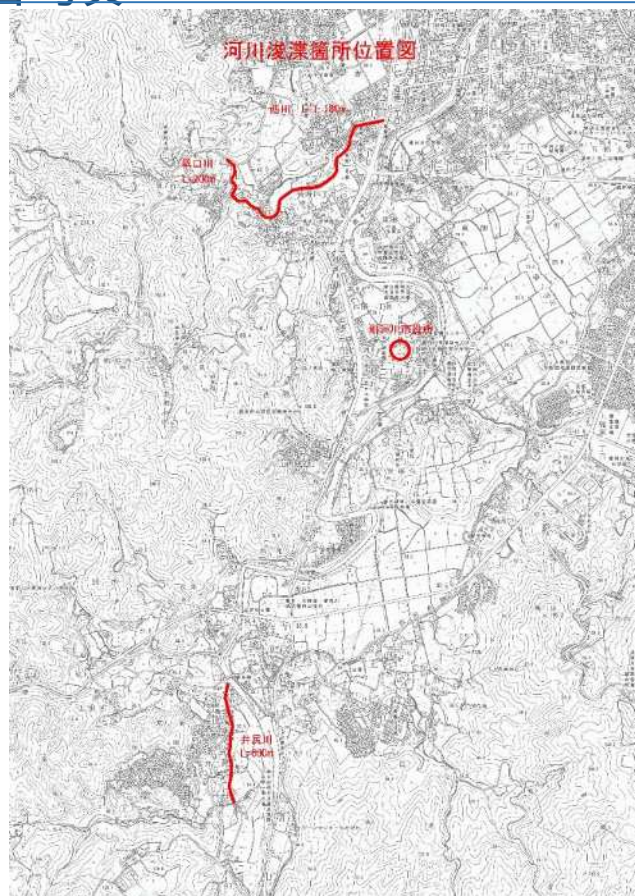
河川の浚渫

(那珂川市の取り組み)

- 豪雨災害により河川が洪水氾濫し、周辺道路及び住宅地が浸水しました。
- 河川内の堆積土砂が著しい箇所において、緊急浚渫推進事業を活用し、堆積土砂の撤去を行い、流下能力の確保を図ります。

河川区域

位置図・写真



取り組み内容の説明



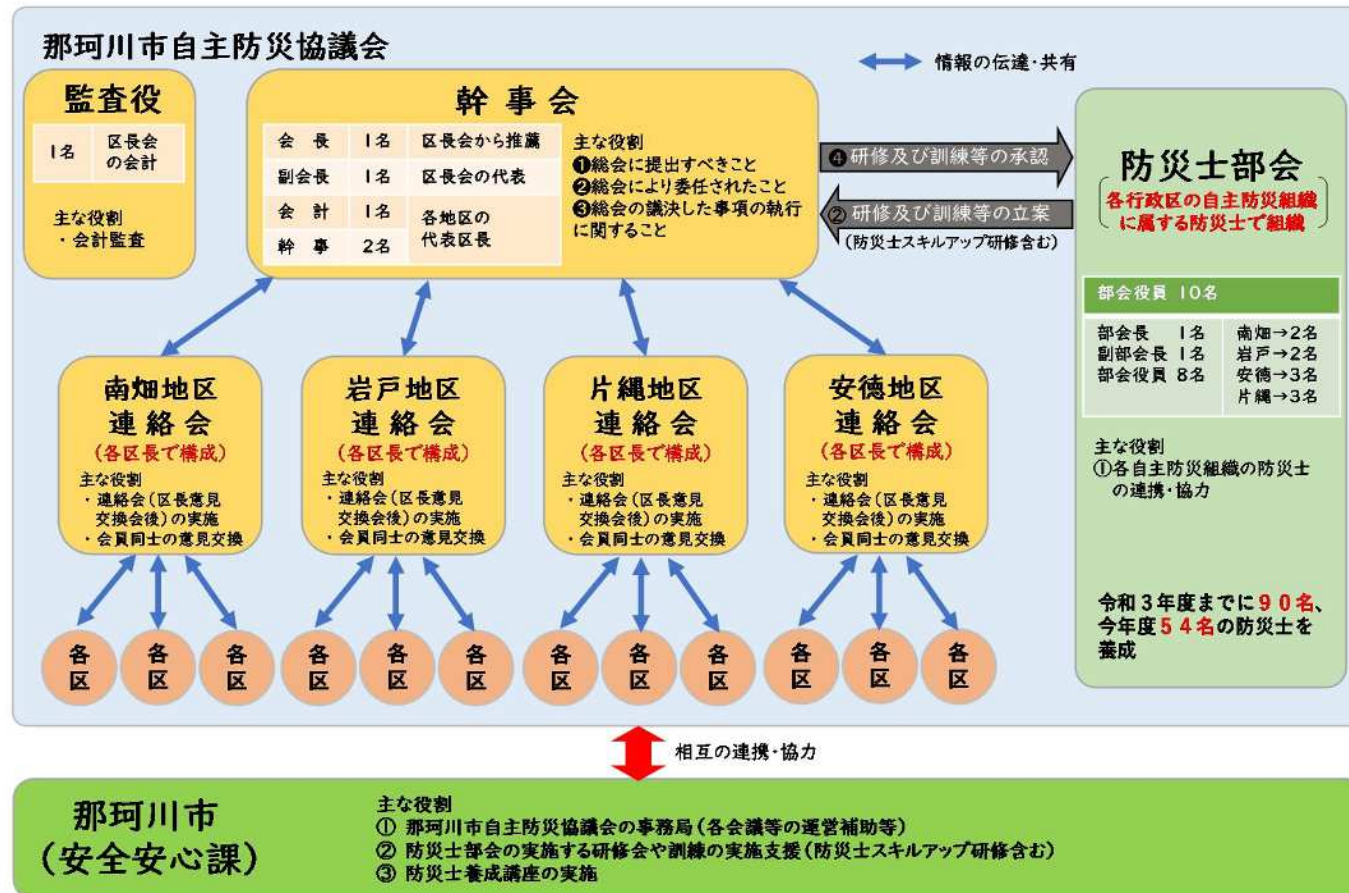
関係機関の連携・協力体制の確保、人材育成

自主防災組織・防災リーダーの育成

(那珂川市の取り組み)

- ▶ 今年度、自主防災協議会の組織改革を実施し、行政区と自主防災組織の一体化を図るとともに、中間組織として地区連絡会を置き、地区内の情報共有ができる体制としています。
- ▶ 自主防災協議会の専門部会として防災士部会を発足し現在活動中の防災士活動の場をより広げるとともに、今年度も市の計画で54名の防災士を養成中です。

那珂川市自主防災協議会組織



雨水貯留浸透機能の向上

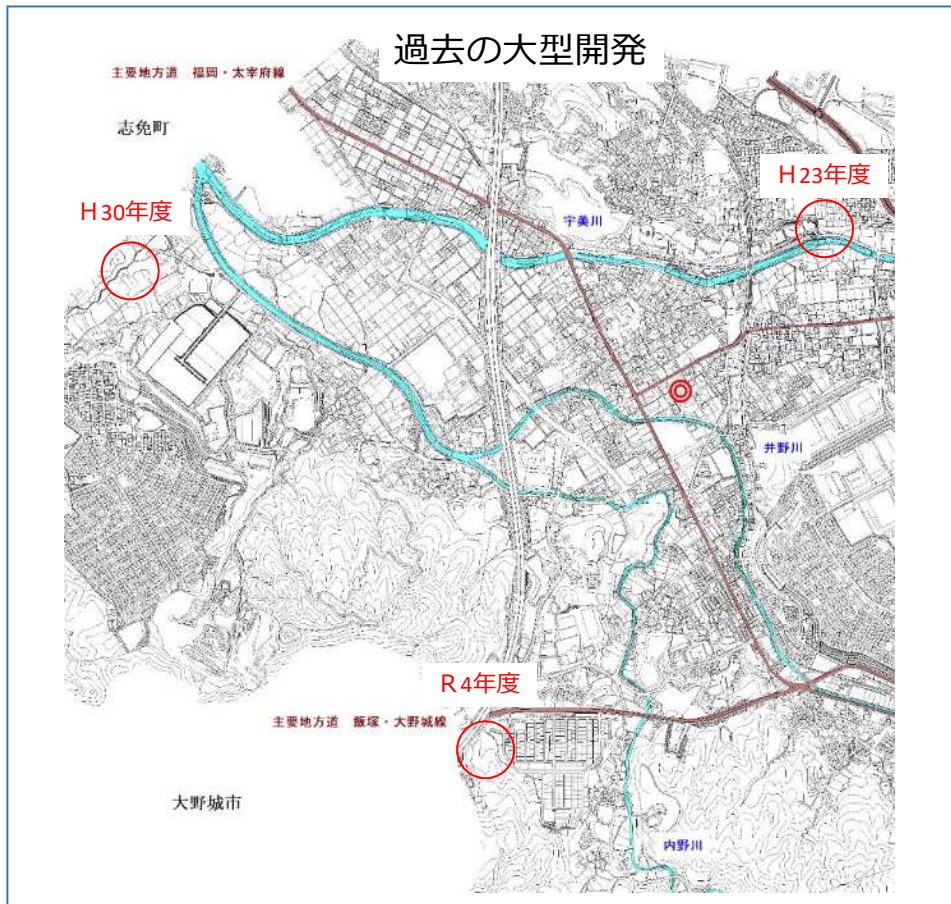
開発に伴う雨水流出抑制に係る規制、指導

(宇美町の取り組み)

- ▶ 開発申請者に雨水流量計算書を提出させ、雨水流出抑制について検討するように指導しています。

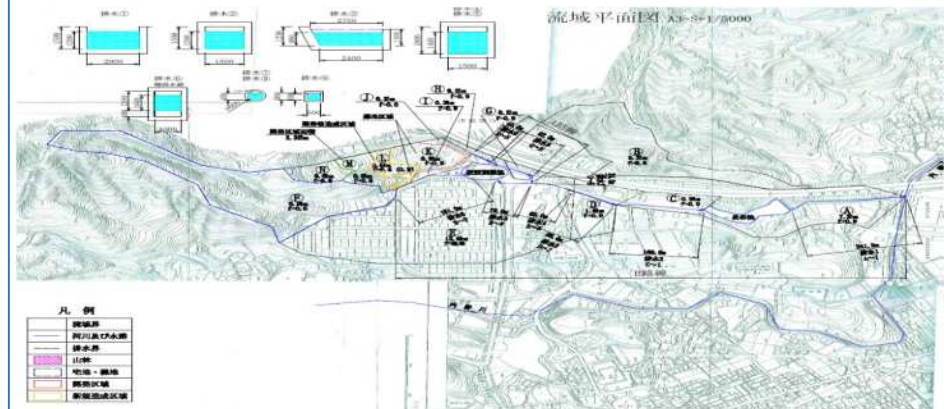
集水域

位置図・写真

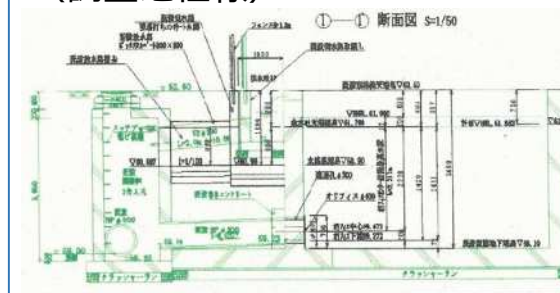


取り組み内容の説明

R4年度大型開発の協議実績
(排水経路及び流下能力)



(調整池仕様)



森林整備・治山対策

治山対策

(篠栗町の取り組み)

➤ 森林整備・治山対策。

河川区域

氾濫域

集水域

■位置図・写真



■取り組み内容の説明

篠栗町内にある山林を整備し、多々良川の支流河川からの土砂の流入等を防ぎます。

雨水貯留浸透機能の向上

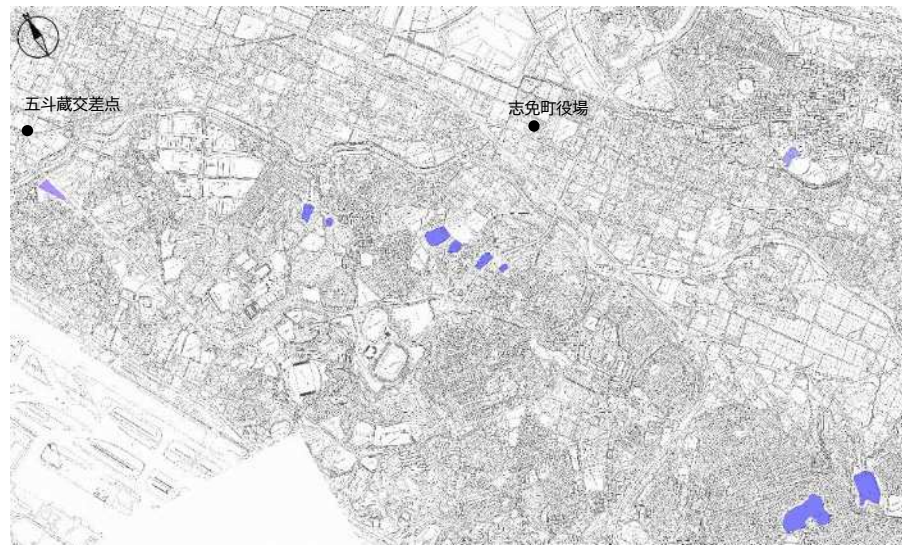
ため池の有効活用

(志免町の取り組み)

- 雨水の調整機能を持たせるため、大雨が予想される場合に池の管理者に連絡し、事前にため池の水位を下げるよう依頼しています。

集水域

■位置図・写真



志免町内農業用ため池 全10か所

■取り組み内容の説明



道路冠水等に影響があるため池に関しては、大雨が予想される場合に、管理者に連絡し、事前にため池の水位を下げて運用している。

雨水貯留浸透機能の向上

雨水流出抑制施設設置の指導

(志免町の取り組み)

町内における民間開発に伴う雨水流出抑制施設設置の指導により、開発区域内に駐車場兼用の調整池を設けることができた事例。

※民間施設の為位置等の詳細非公表

河川区域

氾濫域

集水域

■位置図・写真



■取り組み内容の説明



写真向かって右側の方が水深が深くなるように設計されており、最大189 m^3 の雨水貯留が可能

雨水貯留浸透機能の向上

雨水貯留浸透施設の整備

(新宮町の取り組み)

- ▶ 町内で大雨時に浸水する箇所に対して対策工事を実施します。

集水域

■位置図・写真



横断側溝

■取り組み内容の説明

冠水する箇所に横断側溝の設置を行い浸水対策を実施。他3箇所については集水枡を設置し浸水対策を実施した。

水害リスク情報の共有

各種ハザードマップの作成・公表

(新宮町の取り組み)

- 福岡県による県営河川の洪水浸水想定区域の公表を受け、新たにハザードマップを作成し、令和4年8月に全戸配布しています。また、台風や大雨時の時などに、「いつ」「何をするか」を一人ひとりに合わせて、あらかじめ時系列でまとめることができるよう、マイタイムラインを添付しており、それらを用いながら町の防災専門官が地域に赴いて防災講話を実施し、啓発に努めています。

■位置図・写真



■取り組み内容の説明

新宮町 マイタイムライン(台風・大雨時)

台風や大雨の時に、「いつ」「何をするか」を一人ひとりに合わせて、あらかじめ時系列でまとめることで、いざという時に慌てず行動ができます。ハザードマップも活用しながら、自分の家族や近所の人に合わせたマイタイムラインを作成しましょう。

家族等の連絡先

名前	電話番号	住所	備考

マイタイムラインをしよう!

作成日: 年 月 日

階・風の様子

- 台風が接近する。台風の進路予想がでる。
- 台風が接近する。雨や風がどんどん強くなる。
- 嵐しな雨が降り、川の水位が上がる。すでにいくほどの強い雨が吹く。
- 非常に強い雨が降り、川が氾濫するおそれのある状態になる。土砂災害の予兆現象が見られる。
- 川の氾濫が発生。土砂災害が発生。

警戒レベル1 早退注意

警戒レベル2 大雨・洪水・高潮注意

警戒レベル3 高齢者等避難

警戒レベル4 大規模な浸水

警戒レベル5 緊急安全確保

自分や家族の行動計画

自分や家族の行動計画	参考例
	<ul style="list-style-type: none"> 非常時対応・避難の準備をする。 家族の防災や避難ができていないか確認する。 ハザードマップで自宅の危険度を確認する。 家族の避難行動、避難先、避難経路を確認する。
	<ul style="list-style-type: none"> 家族情報を確認する。 家族の予定を確認する。 非常時対応の準備をする。 避難の準備をしておく。 車で外出せよという指示がある場合は車に乗りこえておく。
	<ul style="list-style-type: none"> 避難先や避難方法を確認する。 避難先が自宅の近所や近所まで確認する。 スマートフォンやモバイルバッテリーを充電する。 避難に応じた避難の準備をする。(着せ、食べ、持ち物等) 避難の時に避難予定の場所を確認する。
	<ul style="list-style-type: none"> 月外に住んでいる祖父母等に緊急連絡をする。 祖父祖母に避難先を確認する。
	<ul style="list-style-type: none"> 警戒レベル4で避難する場合→家族で避難の準備をする。 家族は、避難の準備が完了する。 避難先で家族と連絡をとり合う。

ここまで必ず避難!

★もし、避難できない場合は、緊急時に決意を練ることができる場所や避難物の2層以上は避難

雨水貯留浸透機能の向上

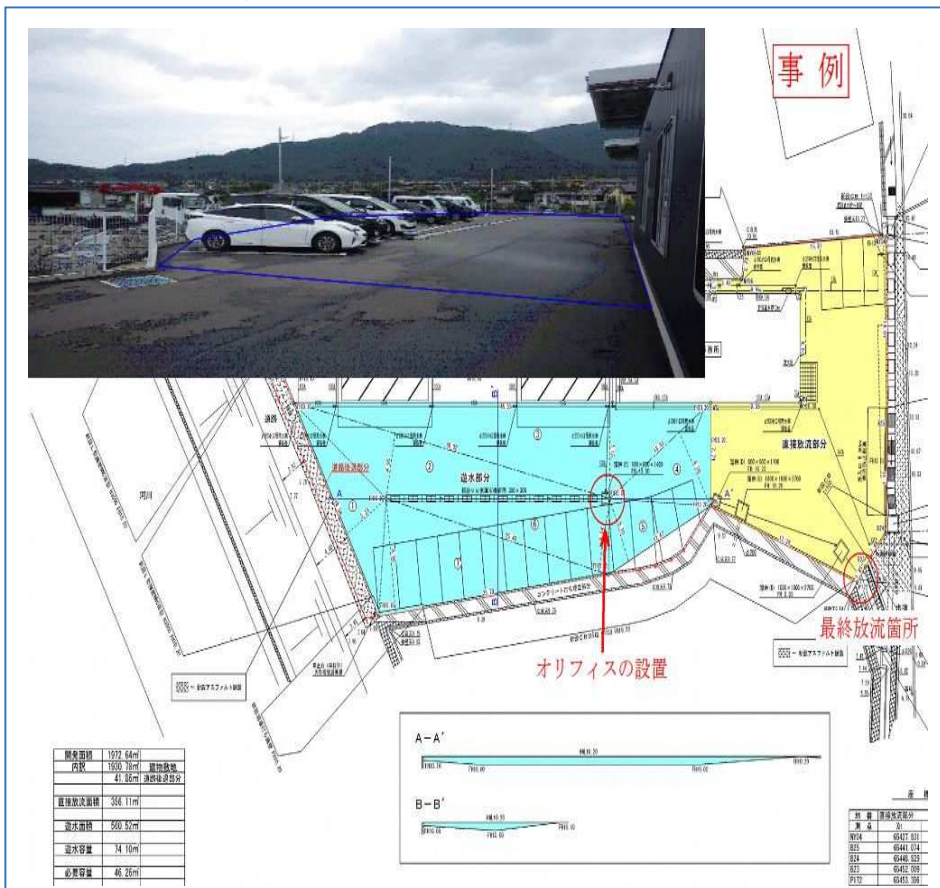
開発に伴う雨水流出抑制に係る規制、指導

(須恵町の取り組み)

- ▶ 平成26年度より、開発に伴う雨水流出抑制対策に係る指導を実施しています。趣旨としては、近年の集中豪雨に際し、氾濫等の水害を未然に防ぐため、開発後の雨水の流出量が開発前の雨水の流出量以下となるよう、開発区域内において抑制施設を設置して頂き、雨水の流出抑制を図っていきます。

集水域

位置図・写真



取り組み内容の説明

- ▶ 本計画は、田を造成し、倉庫・事務所の建築を目的とした開発行為である。
- ▶ 福岡県の定める都市計画法に基づく開発行為の審査基準の計算式において算出された流量をオンサイト式の貯留施設にて駐車場に貯留(水色箇所)し、調整池最終放流桝に設置したオリフィスを経由し、既存側溝へ放流する。
直接放流(黄色箇所)については、場内舗装による勾配調整を行い、開発地最終放流桝に誘導する。調整池の排水も開発地最終放流管にて排水されるため、開発地からの排水は1カ所となる。
以上のように、調整池及びオリフィスの設置により、集中豪雨時のピーク時間をずらすことにより、一度に集中した雨水が流出しないよう指導している。
本計画では採用していないが、他の手法として、浸透桝及び浸透側溝など、浸透施設を設置し、雨水流出抑制に係る規制、指導を行った事例もある。

水害リスク情報の共有

各種ハザードマップの作成・公表

(須恵町の取り組み)

- これまでは小規模河川である須恵川には洪水に対する浸水想定区域が無く、住民にハザードエリアを周知できていませんでした。
- 今後は、令和3年度に福岡県より公表された氾濫推定図を、ハザードマップに取り入れ、住民への周知を図っていきます。

氾濫域

位置図・写真



取り組み内容の説明



雨水貯留浸透機能の向上

ため池の補強・有効活用

(久山町の取り組み)

- ▶ 多々良川流域河川の『新建川』に放流する池上池(防災重点農業用ため池)の改修工事により、堤体内に刃金土及びブロックマットを張り付け堤体の補強を行いました。これにより大雨時の堤体崩壊リスクを低減し、崩壊により『新建川』に水が流れ込むことによる河川氾濫リスクの低減に繋がりました。
- ▶ 今後も必要なため池については補強等を行い、河川氾濫リスクの低減を図ります。

集水域

■位置図・写真

池上池・新建川 位置図



■取り組み内容の説明

池上池 堤体改修写真



内水氾濫対策

下水道等の排水施設の整備(長寿園地区)

(久山町の取り組み)

➤ 大雨時に浸水したことがある地区の排水路について、浸水を防ぐための整備を行います。

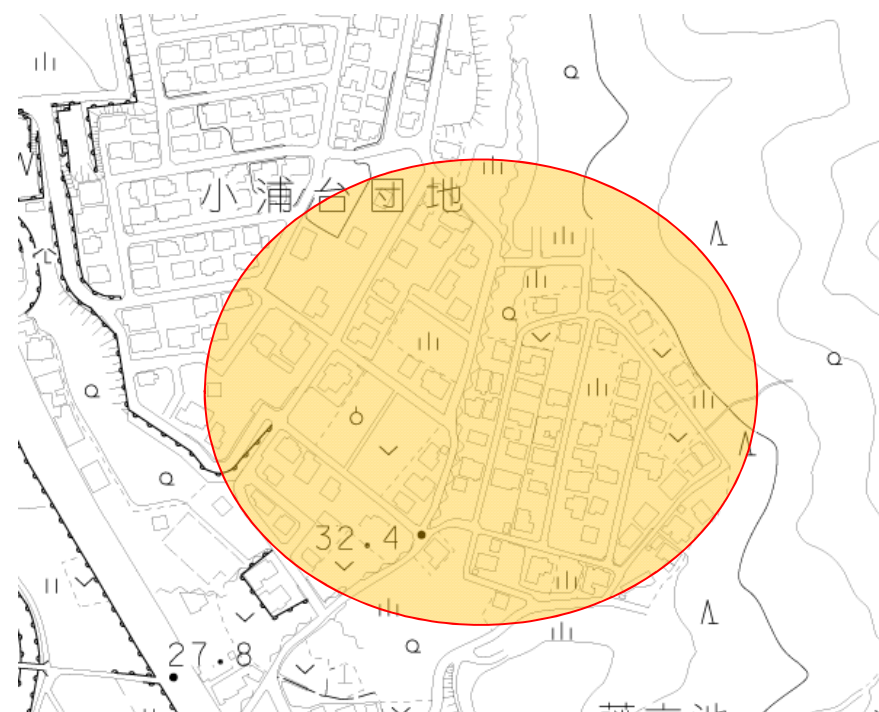
氾濫域

■位置図・写真



■取り組み内容の説明

長寿園地区の排水路整備を行い浸水を防ぐ



内水氾濫対策

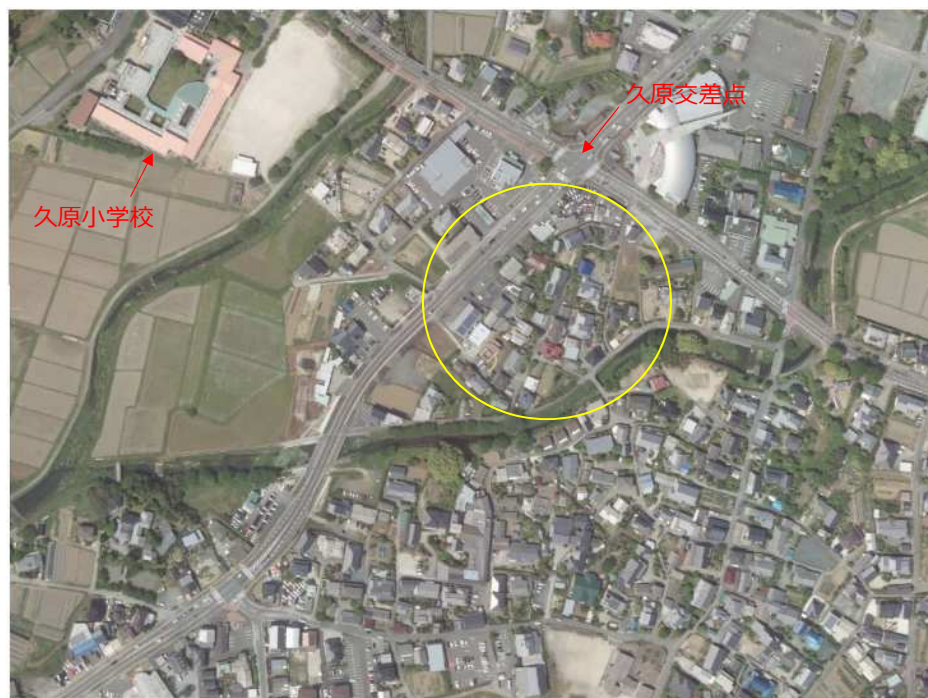
下水道等の排水施設の整備(鍛冶地区)

(久山町の取り組み)

➤ 大雨時に浸水したことがある地区の排水路について、浸水を防ぐための整備を行います。

氾濫域

■位置図・写真



■取り組み内容の説明



住民等への防災情報の周知

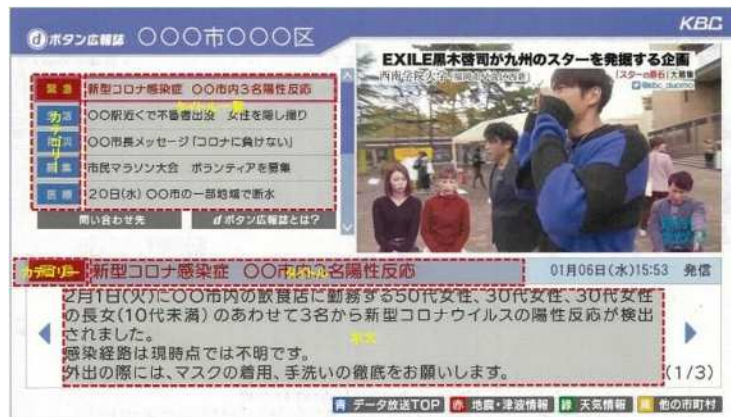
様々な防災情報提供ツールや情報提供媒体を活用した
防災情報伝達の強化・多重化

(粕屋町の取り組み)

- 複雑化、多様化する住民ニーズに応えるため、KBC九州朝日放送が提供するテレビデータ放送及び粕屋町LINE公式アカウントを活用し、防災をはじめとする様々な情報を迅速に発信します。
- 災害時には速やかに緊急情報を発信し住民の避難を促します。

氾濫域

取り組み内容の説明



はじめました!!
粕屋町 LINE公式アカウント
友だち募集中

町の情報もLINEで配信

新型コロナウイルス、防災、ごみの収集日、イベント情報など粕屋町のさまざまな情報をお届けします。ぜひ、粕屋町と「友だち」になって、町の情報もチェックしてください。

主な機能

- 飲食店情報を選んで受け取る
- 災害時の避難所を調べる
- 道路や公園の不具合を町に知らせる (7月から試行運用開始)
- ごみの分別を調べる
- くらしの情報を調べる

友だち追加の手順

- LINEアプリのホーム画面右上にある「友だち追加」を選択
- QRコード又は検索がどちらかを選択
- QRコードを読み取り友だち追加

ID検索

「@kasuya_town」で検索し友だち追加

※QRコードは「株式会社デンソーウェーブ」の登録商標です。

※「粕屋町LINE公式アカウント」では、個人情報を取り扱っていません。個人情報が出すことはありません。

町からの緊急情報 (災害時の避難情報など) は、「友だち登録」をしている全ての人にお送りします。

問合せ 粕屋町協働のまちづくり課 ☎ 938-0173

防災意識の啓発

自主防災組織における防災訓練

(粕屋町の取り組み)

➤ 地域で立ち上げた自主防災組織が企画する防災訓練の支援

防災訓練の内容は自主防災組織で企画し、行政側はそれを支援する位置づけ。特に、公助では手の届かない災害対策の向上と組織が長く継続していくため(負担が過大にならない)のサポートに力を入れている。

■ 取り組み内容の説明



震度6弱の地震を想定し、公民館を集合場所とした避難訓練。訓練には非常食の試食や消防団による消火器訓練も実施。



避難訓練と同時に職員による防災講座や保健師による健康相談も実施。